

研究種目：基盤研究（B）

研究期間：2006～2009

課題番号：18300243

研究課題名（和文） 大正・昭和期の服飾に関する記述データの保存と生活文化史的解析
－新聞・雑誌・文芸－

研究課題名（英文） Preservation of descriptive data in connection with costumes dating
from the Taisho and Showa eras and historical analysis based on the
culture of everyday life as seen in newspapers, magazines and
literature

研究代表者 安蔵 裕子（ANZO YUKO）

昭和女子大学・人間文化学部・教授

研究者番号：80102648

研究分野：総合領域

科研費の分科・細目：生活科学・生活科学一般

キーワード：(1) 近代服飾史資料 (2) 新聞・雑誌・文芸 (3) 大正・昭和期

(4) データベース (5) 検索システム

1. 研究計画の概要

(1) 目的：昭和女子大学の服飾文化研究室では、明治、大正、昭和期の主として新聞・雑誌に記された服飾に関わる記事が、昭和40年代までに手書き原稿で収集されていた。それらは、挿絵・写真などを含み、暫定的に原稿用紙2万8千枚が現存する。

これまでに、近代服飾史の資料集成刊行を目的に分類整理が進められ、研究に活用される機会があったが、その価値を十分に発揮させることができない現状であった。

遺品作例の伝世し難い服飾文化史研究においては、時代の世相を反映した新聞、雑誌、文学における記述は重要であり、その適切な保管と活用が望まれる。本研究は、それらの記述データを電子化し、データベースシステムを構築することにより、適切な保管のもと、教育研究における多様かつ有効活用の推進を目的とする。なお本研究課題の対象は、

大正・昭和期としている。

(2) 方法：記述資料及び画像の入力及び、データベースシステム構築のため、専門知識と専門技術の提供を得て、データの電子化とサーバ機器を介した検索機能の運用体制をつくる。

同時に、記述資料データを用い、連携研究者とともに服飾文化の視点から、大正・昭和期の生活文化変容の様相を観察し、具体的に検索機能を活用した解析法を検討する。

2. 研究の進捗状況

(1) 当該資料群の整理

研究室保管の手書き原稿資料の一覧表を作成の上、表題を明記した通し番号付き統一ファイルに閉じ直して書棚に整理し、保管の基盤と作業能率を図った。

(2) 記述資料の電子データ化

平成18年度から20年度までに、我々教員と

アルバイト学生、さらに委託業者との強力な連携により、表記方法の統一を図りながら入力作業を進め、記述資料約12000枚の電子データ管理を行なった。また、古写真の電子データ化も推進した。

(3) データベース運用体制作り

① 研究室にサーバ機器を設置し、研究室内のLANに接続したPC端末からサーバ機器へアクセスし、WEBブラウザ上から検索を行うことに着手した。

② 設置したサーバ機器へアクセスし、WEBブラウザ上から検索を行うデータシステム構築(将来的には昭和女子大学内からのアクセスにも対応できるようにするため、その障害とならないシステム)の環境整備と管理を行った。

③ 電子化されたデータをファイルシステム上に随時格納した。

(4) 保存・管理の記述データを基にした生活文化史的アプローチ

① 連携する研究者の専門的側面より、記述資料を用いた調査・研究を進めた。

② 一部、研究ノートとして雑誌に発表した。

3. 現在までの達成度

③ やや遅れている

理由：データ入力及び業者との連携を含め、質的・量的な側面を総括する担当者に時間的制約が生じ、その補填が困難で対応が遅れた。また、検索システムの基盤は作成できたが、データの電子化作業と格納を第一義とし、その作業に集中したため、検索システムの活用に関する具体的検討が十分ではない。

4. 今後の研究の推進方策

(1) 総括的事務担当者については、研究心と綿密な作業が要求されるため、適切な人

材を当て効率を図る。

(2) 引き続き委託業者を中心に記述の電子データ化の促進を図るが、検索システムの活用事例の作成の効率を上げるため、入力ファイルの選定などを行なう。

(3) 連携する研究者との協力体制を強化し、服飾関連用語の整理と項目別の検索キーワードの抽出、活用方法の検討を進める。

(4) 前項を受けて、格納されたデータの運用及び活用手法(服飾を視点とした生活文化史的アプローチ)を事例によって総括し、研究成果としてまとめる。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計2件)

① 安蔵裕子、小泉真貴子、「モダンガール」にみる服飾文化、学苑・近代文化研究所紀要、815号、2008年、98～115頁、査読有

② 角田由美子、大正末から昭和初期における靴の変遷、学苑・近代文化研究所紀要、750号、2006年、81～104頁、査読有